



◎メルヘンこども園でめざす幼児教育とは

7歳までの人間の教育は身体を育むことです。子どもが身体づくりに全力を没入できるよう、文字を教えたり、数を数えさせたりといった知的な働きかけは一切しません。この時期は、世界を知るのではなく、世界を体験することが大切なのです。

幼児は模倣することが学ぶことの基本になっています。

愛情に満ちた手本としての大人の活動を、子どもはその個性に応じて模倣していきます。この年齢の子どもにふさわしくない大人による権威的な指導、また反対に、子どもを自由放任することはしないで、子どもが喜びをもって自分の意志で周囲の世界を模倣し、生活の中で学んでいける環境を整え、与えます。保育者は心を込めて働き、善き手本となるよう心掛けます。

子どもの教育は家庭と園との共同作業です。園での生活は家での生活に、家庭での生活は園での生活に大きく影響します。園と家庭での生活が、同じ質をもって連なる大きな流れとなって子どもの教育にふさわしい環境になるように、父母と教師は常に話し合いながら努めて行かなければなりません。そのために園では父母会、参観日、個人懇談、家庭訪問などを実施しています。そのような機会への参加は、子どもにとって意味ある教育活動をしていく上でとても大切なことです。できる限りご参加下さい。

また、こども園での活動以外の習い事、教室などの活動に子どもを参加させようとする父母は、それが園の教育と同じ方向性をもつものであるかを事前に教師と話し合うことが望まれます。